

発達障害者における 多角的支援を目指して

発達障害者に対する行政、教育、医療、福祉などの多角的視点から、支援の輪が広がって久しくなります。しかし、発達障害の当事者側から戸惑いの声が多く聞かれるのが現状です。これはどうしてでしょうか。それは各分野において相談を受けたものの、大半が独自の支援の方向性から横断的対処にとどまっているからです。当事者側に求められるのは長い人生スパンの視点での支援です。今後求められるのは、当事者の人生のさまざまな状況において、現実的に有効情報が提供され、多角的支援によるチーム支援が求められるのではないのでしょうか。

この公開講座では、こうした多角的支援によるチーム支援のありかたについて各専門分野のかたから意見をいただき、参加者の公開討論も行う予定です。ぜひご参加下さい。

総合司会 須賀 英道 (龍谷大学)

シンポジウム 15:50~16:50

座長 上床 輝久 (京都大学健康科学センター)

1 発達障害者の生活、就労における支援の現状と方向性

窪 貴志 (エンカレッジ)

2 発達障害者と教育 一高等教育の支援現場から

村田 淳 (京都大学学生総合支援センター)

3 当事者と家族の求める支援とサポーターとのギャップ

古川 直子 (親の会はぐくみ)、広野 ゆい (発達障害をもつ大人の会)

4 発達障害専門デイケアとプログラムの紹介

渡部 良子 (滋賀県立精神医療センター)

5 多角支援におけるネットワークの必要性

西本 雅則 (暮らしデザイン研究所)

公開討論会 16:50~17:20

座長 窪 貴志 (エンカレッジ)

加藤 郁子 (滋賀県立精神医療センター)

日時 2017年 6月11日(日) 15:45~17:25

会場 龍谷大学深草キャンパス
(メイン会場)

●お問い合わせ先：第17回日本外来精神医療学会大会事務局
〒604-8152 京都市中京区手洗水町652 烏丸ハイメディックコート2階
(医) あけぼの会 杉本医院 からすまメンタルクリニック内
TEL：075-256-2151 E-mail:gairai.seishin.17@gmail.com

●主催：日本外来精神医療学会

●後援：京都府医師会、京都精神科医会、京都精神科病院協会、京都精神神経科診療所協会、日本精神神経科診療所協会、日本精神科産業医協会、日本精神科看護協会、京都産業保健総合支援センター、京都精神保健福祉士協会、日本精神保健福祉士協会、京都府薬剤師会、日本精神神経学会

<http://jaaps17.umin.jp/>